

なぜ、英語がしゃべれない？

この本は、英会話をできるようにになりたいものだと、強く願っているが、どうしたら英語が話せるようになるのかが皆目わからない人のために書かれている。

英語が話せる人というのは、国際会議で活躍する同時通訳者のように、瞬間的に「日本語」→「英語」の方向に頭の中で翻訳できて、しかもそれがすぐ口をついて出てくる人のことである、と思っている人もいるかもしれない。

しかし、それは間違いである。

英語が話せる人というのは、日本語を忘れている人のことである。

英語で話をしているときに、日本語が頭の中からすっかり消えている人のことである。

つまり、日本語の助けがなくても全然困らずに、英語という大海の中を自由に泳ぎまわってられる人のことである。

同時通訳というのは、まず「日本語」→「英語」の方向ではやらない。必ず「外国語」→「母語」の方向でやるのである。それから、ふつう15分くらいブースの中で同時通訳の仕事をしたら、交替し、30分くらい休む。そうでないと、脳がその負担に耐えられないからである。つまり、かなり人間の脳にとって不自然なことをやっているわけである。

一方、英語でしゃべるといえるのは、英語で考え、英語でことばを口に出し、英語で相手のことばを聞き、英語で理解する、ということであって、英語以外の言語はそこには顔を出さない。

何時間でもくつろいでおしゃべりを続けることもできる。日本語であなたがおしゃべりをしているときに、それを他言語に翻訳しながら理解しているなんてことはしていないでしょう？ それと同じである。

では、どうすれば、日本語の助けを借りずに英語だけで、英会話という英語の大海を泳いで行けるのであろうか？

それが本書の最終的な目的であるが、まず手始めに、あなたの現在の（おそらく悲惨な）英語会話力を、もう少しよいものにするためには、何をどうしたらよいかを考えていこう。